■神奈川県立上溝高等学校
（神奈川県相模原市上溝）

創立 94 年の歴史ある県立上溝高校。ただ伝統を重んじるだけでなく、時代の要望に応えられる才気あふれる生徒を輩出するために、さまざまな取り組みがなされています。なかでもコンピュータ教育については、他校にさきがけ、パソコン実習の授業を展開するなど、時代のすう勢をにらんだ先進のカリキュラムが導入されています。

Hard Lock の導入も3年目。セキュリティ面だけでなくさまざまな校務面の作業についても、じつに効果的な使い方をされています。Hard Lock の機能、便利さを、余すところなく応用されている同校。その理想的な活用現場をレポートしました。

情報科授業の先駆者、上溝高校

ついに「情報科」という新時代の教科がスタートした神奈川県の高校。同校では「自己表現＝プレゼンテーションができる生徒」を目標に、これらのカリキュラムへの取り組みが行なわれています。情報科の中の情報 A では、情報モラルを中心にリテラシーとプレゼンテーションを学び、情報 B ではプログラムを学習、情報 C ではネットワーク中心の授業が行なわれています。特に力を入れている情報 C では「どうやって携帯のメールは届くの？」といった身近な例を題材に、生徒により興味をもたせ理解を深めさせるよう、創意あふれる授業が展開されています。特に力を入れている情報 C では「どうやって携帯のメールは届くの？」といった身近な例を題材に、生徒により興味をもたせ理解を深めさせるよう、創意あふれる授業が展開されています。

▲情報教育の先駆として培ったノウハウで、活気あふれる授業が展開されている。

とりわけ同校は、学校設定科目としてコンピュータ教育にはやくから取り組み、約 15 年前からパソコンルームを作るなど、いちはやく情報科社会に対応できる教育を進めてきました。「本校では、他校にさきがけてコンピュータ授業に取り組んできたため、比較的苦労しないで情報科の授業に移行できましたね」とお話しされるのは情報科主任の天野詔之先生。コンピュータやネットワークなどにもたいへん詳しく、Hard Lock の導入にも積極的な提案をされました。

セキュリティの重要性を、Hard Lockで確認

「学校というのはプライバシーに直結するような、たくさんの個人情報が集中している場所。ですから Hard Lock 導入以前からも、生徒の個人情報は校務サーバーと切り分け管理したり、インターネットに接続する場合も USB キーを利用して、ネット接続に対する意識を他の先生にも持っていただいていました。しかし不正侵入の方法がますます巧妙になり、インターネット領域に出ることの危険性がますます高まるなか、きっちりとしたセキュリティを施す必要があったのです。そこで力を発揮するのが Hard Lock。このハードルをかけることで、個人情報サーバーへの不正アクセスを完全に遮断でき、なおかつインターネット領域に出ることのリスクをさらに強く先生方に認識してもらえるのです」。

民間と違い学校の場合、個人 PC の利用も多いのが現状です。そこで Hard Lock によるセキュリティは必要不可欠となるのです。まさに「Key」＝「意識」の式が成り立つわけです。どの先生もコンピュータやネットワークに対してスキルがあるとはいえないなか、ネットの恐さを理解するための重要な「Lock＝錠前」が Hard Lock といえるのでしょう。また、学校という特殊な環境における考慮も必要です。「大まかな言い方ですが、学校という場所には“管理する側（教師）”と“管理される側（生徒）”という 2 種類の人間しかいません。Hard Lock がこの2つを簡単明瞭に切り分けるのも大きな魅力ですね」。

▲利便性と安全性、信頼性を確保して初めて安心して情報教育が出来ると語る天野先生。

「安定性」をバックに、多種多様な活用事例

セキュリティを考える上で、決して外してはいけない要素に「安定性」があります。この安定性についても同校の場合、Hard Lock を導入してから 3 年目にいたる現在まで、一度もトラブルを起こすことなく作動しています。安定性が確保されているからこそ、さまざまな用途にも安心して利用できるのです。「現在、校務サーバーと個人情報サーバーとに切り分けて使用していますが、校務サーバーでは説明会のお知らせなどを共有したり、出張伝票の作成などにも利用しています。一方、個人情報サーバーでは使用者を限定し、Hard Lock の鍵は先生の個人管理としています。また、生徒情報にもセキュリティレベルを設け、最も低い C ランクにあたる名表などは校務サーバーに、B ランクに値する成績表などは個人情報サーバーに、A ランクの指導書などは持ち出し禁止などの対策をとっています」。このように同校では、個人情報管理に対して、ハード、ソフト両面からの徹底したセキュリティが実践されています。「また、Hard Lock の場合、いつでも JMC の担当者が駆け付けてくれるのもポイントですね」。

▲Hard Lock の USB キー。キーを挿入し、パスワード入力するだけで安全性が確保される。

今の時代、エンドユーザーがすべてを知っていなくても問題はありません。大船に乗ったつもりでいいのです。

ところで実際に使用されている他の先生方からはどのような声が上がっているのでしょうか？「Hard Lock の使い方は非常に簡単。例えば新しい先生が着任されて、Hard Lock の使い方を教えるのも、短時間で済みます。その後はすぐに校務サーバーにある生徒指導や総務などのフォルダー管理もみなさんスムーズに使うようになりますね」と、他の先生方からの声も上々のようです。

上溝高校の取り組みを全国へ広げ、心から安心できる教育現場に

同校以外でも Hard Lock などのシステムが導入され、学校側も情報漏洩に関する危機意識を持ち始めてはいますが、まだまだ日本の学校現場全体におけるセキュリティの認識は低いと先生は指摘します。

「セキュリティというソフト部分について、日本はまだまだ認識が低いのが現状ですね。県立高校1校だけが頑張っていてもだめなんです。すべての学校が、セキュリティへの意識、個人情報の重さを認識してこそ、生徒も安心して学校生活を送ることができるわけですから」。

個人情報がいともたやすく売買されてしまう時代。未来を担う子供のためにも、教育に携わるすべての人間の意識改革が必要です。先生方の心に“意識”という名の Key を植え付ける Hard Lock。上溝高校では、その Key は着実に先生方の意識のなかに根をはりつつあるようです。

■学校プロフィール

神奈川県立上溝高等学校

所在地：〒229-1123　相模原市上溝 6－5－1

開　校：明治 44 年 4 月

URL：http://www.kamimizo-hs.ed.jp/